

地学 2-01 (小学校低学年用)

1



植物 2-01 (小学校低学年用)

1 アベマキ

瀬戸内丘陵に多い夏緑高木。9月下旬から10月にドングリを落とします。クヌギに似ていますが、葉裏に毛が多いため白く見えます。

2 トウカイコモウセンゴケ

丘陵地の湿地に生える多年草。東海地方から中国地方にかけて分布し、倉敷市種松山が西限となります。同じ食虫植物のモウセンゴケもしばしば同じ湿地に生えますが、トウカイコモウセンゴケの花がピンク色なのに対し、モウセンゴケの花は白色です。

昆虫 2－01（小学校低学年用）

1 カブトムシ

（ほかにも多数正解あり）

動物 2－01（小学校低学年用）

1 セビレ

スナメリは，国内では瀬戸内海や内湾に生息している小型の歯クジラ（ネズミイルカ科）の仲間で，背びれがないのが大きな特徴です。展示標本では見にくいのですが，背中の中央線上に感覚器官と考えられる小突起が無数に並んでいます。正面から見ると，噴気口ふんきこうが中央でなく右側にかたよっていることがわかります。

2 ② くじら や いるか の なかま

昔の日本人はクジラやイルカを魚の仲間と考えていたようです。

円錐形えんすいけいの歯をもつものを歯クジラ，ひげ状の歯をもつものをヒゲクジラに分類します。一般に，大型で吻端ふんたんがとがっていないものをクジラ，小型で吻端がとがっているものをイルカと呼びますが，両者に厳密な区別はありません。